

## 1 活動概要

文芸専門部は平成14年度(2002年)に愛知県高等学校文化連盟の15番目の専門部として設置された。15年度より本格的な活動を始め、現在81校の文芸部(同好会)が所属している。

主な活動として、校内の活動に限られがちな文芸部の生徒のために、「県大会」「講習会」「作品集の発行」を三つの柱とした全県規模での交流を図り、活動を支援している。

## 2 県大会

当専門部では、アートフェスタ(県高文祭)の文芸部門を兼ねて県大会を開催している。主に愛知芸術文化センターを会場に、講演会・分科会・交流会の内容で行っており、27年度は23校92名の生徒が参加した。

この10年間の内容は以下のとおり。

- 18年度 講演：中村文則氏(作家)  
「文章を書くということ」  
分科会：中村文則氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小塩卓哉氏[短歌]  
生徒交流：作品合評他
- 19年度 講演：清水良典氏(文芸評論家)  
「わたしとあなたが〈書く〉理由」  
分科会：清水良典氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小塩卓哉氏[短歌]  
生徒交流：テーマ討論他
- 20年度 講演：諏訪哲史氏(作家)  
「〈新しいもの〉と〈新しそうなもの〉」  
分科会：諏訪哲史氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小塩卓哉氏[短歌]  
朗読鑑賞：松原実智子氏(俳優)  
[地域文化活性化事業を兼ねる]
- 21年度 講演：角野栄子氏(作家)  
「おはなしの生まれる時」  
分科会：御子柴桂子氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：部誌紹介
- 22年度 講演：アーサー・ビナード氏  
「もしも文字がなかったら」  
分科会：専門部役員[散文] ビナード氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：情報交換会

- 23年度 講演：村竹勝司氏(アナウンサー)  
「伝える～話し言葉・書き言葉～」  
分科会：御子柴桂子氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：部誌PR他
- 24年度 講演：清水良典氏(文芸評論家)  
「これから小説を書く君たちへ」  
分科会：清水良典氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：情報交換会
- 25年度 講演：堀田あけみ氏「物語の力」  
分科会：堀田あけみ氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：情報交換会
- 26年度 講演：徳村 弘氏(歌人)「短歌の読み方」  
分科会：柴田哲谷氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：情報交換会
- 27年度 講演：諏訪哲史氏(作家)  
「週に一冊『遠い本』を読もう!」  
分科会：諏訪哲史氏[散文] 三浦優子氏[詩]  
小崎早苗氏[短歌]  
生徒交流：部誌を読み合う

## 3 講習会

生徒たちが創作の技量を磨き合う場として講習会を開催し、創作に関する講義や実作等を行っている。

この10年間の内容は以下のとおり。

- 18年度 個人作品集の作成/「連句を巻く」
- 19年度 講演 鈴木光司氏(作家)/付け句大会 他  
[文芸道場東海・近畿ブロック大会を兼ねる]
- 20年度 群読講習会 いのこ福代氏(俳優)・高橋よしの氏  
[地域文化活性化事業を兼ねる]
- 21年度 百人一首による詩作/講話「部誌の編集」
- 22年度 短歌についての講話と実作(小崎早苗氏)
- 23年度 俳句についての講話と句会(高橋 進氏)
- 24年度 講話「小説の表現」(柴田哲谷氏)
- 25年度 歌会と創作(犬飼亮介氏)
- 26年度 講義と俳句の実作(竹岡佐緒理氏)
- 27年度 歌会と創作(犬飼亮介氏)

## 4 作品集『映絵』発行

平成16年(2004年)2月に創刊し、27年度で第13号を数える。創作発表の場として全県の文芸部に投稿を呼びかけ、27年度第13号には32校から散文に18人、詩に32名、

短歌に43名、俳句に57名、部誌10校、部活動紹介18校、装画19名の応募があった。装画部門の審査や編集作業の一部を生徒編集委員が担当している。

装画部門の第一席の作品は表紙を飾る。また、散文、詩、短歌、俳句、部誌の各部門の第一席から、次年度の全国総文祭派遣候補として専門部より推薦される。(但し第一席作品が3年生の場合は次年点1、2年生を派遣。)

## 5 文芸道場

平成11年(1999年)、文化庁の呼びかけで「文芸道場」が企画され、全国各ブロックで地区大会が行われた。愛知県で第1回が実施され、三重、岐阜、静岡の3県と輪番で「高校生文芸道場東海・近畿ブロック大会」を開催してきた。平成22年(2010年)以降文化庁の予算が計上されず平成22年度の静岡大会のあと休止している。愛知県では平成19年(2007)に行われたのが最後である。

## 6 地域文化活性化事業

平成20年度に愛知県教育委員会委託事業として、地域文化活性化事業「声にしよう あなたの心」を以下のとおり行った。

- (1) 群読勉強会(7月25日 51名参加)  
講師 いのこ福代氏(俳優)・高橋よしの氏
- (2) 朗読鑑賞会(8月24日 180名参加)  
講師 松原実智子氏(俳優)
- (3) 群読講習会(10月4日 81名参加)  
講師 いのこ福代氏(俳優)・高橋よしの氏

## 7 全国大会(全国文芸コンクール)入賞者

この10年間の入賞者は以下のとおり。

- 18年度 詩・俳句 井畑有香(幸田)  
19年度 俳句 清家由香里・岡本典子(幸田)  
20年度 詩 可児彩花(安城農林)  
俳句 清家由香里・鴨下加奈子(幸田)  
21年度 詩 可児彩花(安城農林)・川口あずさ(愛知商業)  
俳句 高光美江子(幸田)  
22年度 俳句 清水栄里・赤堀仁美(幸田)  
23年度 短歌 安井千尋(向陽)  
24年度 短歌 安井千尋(向陽) 俳句 横石成美(幸田)  
25年度 短歌 清水ゆり子(西春)・加藤あまね(明和)  
俳句 金光絢子・山田翔子・深谷来夢(幸田)  
26年度 小説 吉村毬花(豊田西) 詩 浅井智美(幸田)  
俳句 安藤 翔・長谷川凜太郎(名古屋)  
27年度 俳句 竹中佑斗(名古屋)

## 8 全国総文祭出場校・出場者

前年度の作品集『映絵』の部誌・散文・詩・短歌・俳句各部門の第一席を次年度の全国総文祭派遣候補として専門部より推薦している。「4 作品集『映絵』発行」参照。

- 18年度 部誌 滝 散文 杉浦麻里江(時習館)  
詩 宮川重弓(明和) 短歌 谷口真祈子(岡崎)  
俳句 井畑有香(幸田)  
19年度 部誌 滝 散文 大場美矢子(時習館)  
詩 宮川重弓(明和) 短歌 谷口真祈子(岡崎)  
俳句 鴨下加奈子(幸田)  
20年度 部誌 明和 散文 牧野優美(時習館)  
詩 妹尾美紗子(緑) 短歌 大塚友貴(天白)  
俳句 鴨下加奈子(幸田)  
21年度 部誌 南山女子部 散文 大羽 輝(時習館)  
詩 村松直和(岡崎) 短歌 佐護恵利奈(天白)  
俳句 池野陽子(幸田)  
22年度 部誌 時習館[参加見送り]  
散文 齋田衣里(明和) 詩 川原夏菜子(緑)  
短歌 宮嶋優里(瑞陵) 俳句 清水栄里(幸田)  
23年度 部誌 名古屋 散文 木下裕美子(南山女子部)  
詩 前田美茉莉(南山女子部)  
[短歌・俳句部門は参加見送り]  
24年度 部誌 半田商業 散文 櫻井 智(菊里)  
詩 宮本祥徳(明和) 短歌 田中稚奈(時習館)  
俳句 中村秋穂(天白)  
25年度 部誌 名古屋 散文 小池 忠(時習館)  
詩 永坂恵里(西尾) 短歌 齋藤拓夢(半田)  
俳句 杉浦ひなの(安城)  
26年度 部誌 半田商業 散文 星野朱音(瑞陵)  
詩 山田彩乃(時習館)  
短歌 今田佳奈子(菊里) 俳句 大山愛永(幸田)  
27年度 部誌 天白 散文 松岡歩佳(桜台)  
詩 佐久間 愛(昭和) 短歌 細川美樹(西尾)  
俳句 柴田 健(名古屋)



写真 平成27年度県大会講演会